

生活単元学習指導案

京都市立紫野小学校
指導者 西
川三矢子，野村大輝

1. 日時 令和3年6月17日（木） 5校時（13：30～14：15）
2. 学年・組 3組 （第2学年1名，第5学年1名，第6学年2名 計4名）
3. 場所 3組教室
4. 単元 「先生となかよくなろう会」を開こう
5. 単元目標

	知識・技能（ICT 活用）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 児	・ロイロノートを活用し，文字を入力したり，写真を撮り貼ったりする。 ・文章や写真のカードをつなげる。	・自己紹介したい事柄を考え，自己紹介カードを作る。	・あいさつする。 ・指導者の支援を受けつつ，ロイロノートで作成したカードを見せながら自己紹介する。
B 児	・インターネットを活用し，必要な情報を検索したり，選んだりする。 ・情報モラル(著作権)について知る。 ・ロイロノートを活用し，文章や写真等を組み合わせたカードを作る。	・紹介したい事柄を考え，内容がよく伝わるように，文章や写真を使い自己紹介カードを作る。 ・紹介した内容について，教職員からの質問に答える。	・相手意識をもち，あいさつする。 ・ロイロノートで作成したカードを見せながら自己紹介する。
C 児	・インターネットを活用し，必要な情報を検索したり，選んだりする。 ・情報モラル(著作権)について知り，簡単な出典を記録する。 ・ロイロノートを活用し，文章や写真等を組み合わせたカードを作	・紹介したい事柄とその訳を考え，内容がよく伝わるように，文章や写真を使い，工夫して自己紹介カードを作る。 ・紹介した内容について，教職員か	・相手意識をもち，声の大きさを考えてあいさつする。 ・ロイロノートで作成したカードを見せながら，自分で工夫した表現で自己紹介する。

	る。	らの質問にわかりやすく答える。	
D 児	・ GIGA 端末のログイン体験をする。 ・ ロイロノートを活用し、文字を入力する。	・ 自分の名前を入力する。	・ 自分の名前を紹介する。

6. 単元について

3組は、今年度2年生が1名入級し、4名の在籍となった。学年も発達段階も課題もそれぞれ違う児童たちである

が、共通している課題は、程度の差こそあれ、コミュニケーション能力である。

それぞれに伝えたい思いはたくさんあるものの、どのように言えばよいか分からなかったり、言葉が足りなかったりして、なかなか思いが伝わらず悔しい思いをすることがある。また、関わりの少ない人に対してはうまく話ができな

かったりする場面もしばしば見られる。時には、うまく表現できず、相手に不快な思いをさせてしまうこともある。

コミュニケーション能力を高めることは、生きる力の基礎であり、特に学校生活の中では重点的に身につけさせた

い力である。

本学級の5年生のB児と6年生のC児は、交流学习も多く、同学年の子どもたちを中心にたくさんの人と関わりをもっている。しかし、2年生のA児は教職員との関わりや学級での少人数での関わりは好きであるが、同学年や大人数の中での関わりは苦手である。そこで、本学級の児童のコミュニケーション能力を高めていくために、学校生活の様々な場面の中で、たくさんの教職員や子どもたちとの関わりを大切にしながら、相手のことを考えた言葉のやり取りや態度を育てる活動を大切にしていきたい。

更に、今年度より GIGA 端末が一人に一台に配布され、オンライン授業や家庭での活用も視野に入れながら、日々の活動の中で、この端末を活用することが求められている。本学級の児童も活用を進める中で、自分でログインし、インターネットで必要な情報を検索したり、ロイロノートを活用し文字や写真を取り入れたプレゼンを作成したりできるようになってきた。

本学級の児童にとっては、筆記用具を用いて自分で文字を書いたり、絵を描いたりするよりも、GIGA 端末に文字を打ち込んだり、写真や映像を活用したりする活動は、集中力が持続し、興味をもって主体的に自分の課題に取り組むことができる。そのため道徳や課題別学習でも活用を進めてきた。これからも学習を深めるツールとして、また、コミュニケーションツールとして活用し、子どもたちの情報活用能力を高めていきたい。

本単元では、「先生となかよくなろう」を目標に、教職員に向け自己紹介をすることにより、相手意識をもち丁寧な言葉遣いで話したり、聞き取りやすい声を意識して出したりする活動を通して、コミュニケーションの力を育てていきたい。また、ロイロノートを活用した自己紹介カード作成することで、情報活用能力も身につけさせたいと考えている。

本時では、校内の教職員との交流の場を設定した。児童たちは、本時の学習に向け、ロイロノートを活用し、自己

紹介カードを作成したり、自己紹介の練習をしたりすることに取り組んできた。恥ずかしかったり、気持

ちが不安定になったりしてうまく自己紹介ができないことも予想される。しかし、褒め言葉や励ましの言葉で、「がんばろう」という気持ちを素直にもてる子どもたちである。たくさんの人の前で発表することが自信となり、次の活動への意欲につながってほしいと考えている。いつも校内で関わってもらっている大好きな教職員の方々に自己紹介し、コミュニケーションをとることで、先生をますます身近に感じ、関係を深めたり広げたりしてほしいと思う。

7. 単元活動計画（全4時間）

	学習内容	児童の活動	評価の観点
1	・「先生となかよくなる会」を計画する。	・自己紹介をするために必要な情報は何かを考える。	A 児：紹介したい事柄を考えることができる。(思) B 児：紹介したい事柄を考えることができる。(思) C 児：紹介したい事柄とその訳を考えることができる。(思) D 児：紹介したい事柄を考えることができる。(思)
2	・自己紹介カードを作る。	・必要な情報を集める。 ・著作権について知る。	A 児：ロイロノートに文字を入力したり、写真をはったりすることができる。(知) B 児：必要な情報を検索したり、写真を撮ったり貼ったりすることができる。(知) 著作権について知ることができる。(知) C 児：必要な情報を検索したり、写真を撮ったり貼ったりすることができる。(知) 著作権について知り、簡単な出典を書くことができる。(知) D 児：GIGA 端末にログインすることができる(知)
3		・自己紹介カードを作成する。	A 児：自己紹介カードを作ることができる。(思) B 児：文章を書いたり写真を使ったりして自己紹介カードを作ることができる。(思) C 児：文章を書いたり、写真を使ったりして工夫して自己紹介カードを作ることができる。(思) 著作権について知り、簡単な出典を書くことができる。(知) D 児：名前を入力することができる。(思)
3	・自己紹介の練習をする。	自己紹介の練習をする。	A 児：カード送りながら、ゆっくり大きな声で自己紹介することができる。(主) B 児：カードを送るスピードを考え、相手意識を持ち、声の大きさに気をつけて自己紹介することができる。(主) C 児：カードの送り方を工夫し、相手意識を持ち、声の大きさや話すスピードに気をつ

			<p>けて自己紹介することができる。(主)</p> <p>D 児：自分の名前を言うことができる。(主)</p>
4	「先生となかよくなろう会」を開く。	教職員に自己紹介をする。	<p>A 児：・挨拶ができる。(主)</p> <p>・指導者の支援を受けつつ、カード送りながら、自己紹介することができる。(主)</p> <p>・ゆっくり大きな声で話すことができる。(主)</p> <p>B 児：・相手を見て、あいさつする。(主)</p> <p>・カードを送るスピードを考え、自己紹介することができる。(主)</p> <p>・相手意識をもち、声の大きさに気をつけて話すことができる。(主)</p> <p>・紹介した内容について、質問に答えることができる。(思)</p> <p>C 児：・相手の顔を見て、あいさつする。(主)</p> <p>・カードを送るスピードや送り方を工夫し、自己紹介をすることができる。(主)</p> <p>・相手意識もち、声の大きさや話すスピードに気をつけて話すことができる。(主)</p> <p>・紹介した内容について、詳しく質問に答えることができる。(思)</p> <p>D 児：自分の名前を伝えることができる。(主)</p>

8. 本時の目標

A 児：

- ・挨拶ができる。
- ・指導者の支援を受けつつ、カード送りながら、自己紹介することができる。
- ・ゆっくり大きな声で話すことができる。

B 児：

- ・相手を見て、あいさつする。
- ・カードを送るスピードを考え、自己紹介することができる。
- ・相手意識をもち、声の大きさに気をつけて話すことができる。
- ・紹介した内容について、質問に答えることができる。

C 児：

- ・相手の顔を見て、あいさつする。
- ・カードを送るスピードや送り方を工夫し、自己紹介をすることができる。

- ・ 相手意識をもち、声の大きさや話すスピードに気をつけて話すことができる。
- ・ 紹介した内容について、質問に詳しく答えることができる。

D 児：

- ・ 会に参加し、自分の名前を伝えることができる。

9.本時の展開

活動時間	学習内容	児童の活動	○支援、・留意点	評価の視点
13：30～ 13：35	1. 本時の学習の流れを知る。		・ 学習の流れが分かりやすいよう黒板に提示する。	
	「先生となかよくなろう会」を開			
	2. 自分のめあてを確認する。	・それぞれのブースに分かれて、自己紹介の準備をする。	・個々のめあてを黒板に貼り、確認する。	
13:35～ 14：05 ① 13：35～ 13：45 ② 13：45～ 13：55 ③ 13：55～ 14：05	3. 4つのブースに分かれ、教職員に向け、各自3回自己紹介をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをして、自己紹介を始める。 ・ロイロノートを操作し、作ったカードをめくりながら、自己紹介する。 ・質問に答える。 ・教職員から感想カードをもらう。 ・お礼を伝える。 <p>* 参観者に子どもたちの紹介に合わせた質問をしたり、感想カードを貼ったりしてもらえるように事前をお願いしておく。</p>	<p>A 児：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安心して発表できるよう側に座り、困ったことがあればすぐに尋ねられるようにする。 ○ゆっくり、はっきり話すように支援する。 <p>B 児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○興奮しすぎないように留意し、テンションが高めの時は、落ち着くようにゆっくりと声をかける。 ○質問内容に沿った受け答えができるように支援する。 <p>C 児</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緊張して声が小さくなった場合は、声をかけ、緊張をほぐすようにする。 <p>D 児</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加できるように働きかける。 	<p>A 児：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶ができる。 ・指導者の支援を受けつつ、カード送りながら、自己紹介をすることができる。 ・ゆっくり大きな声で話すことができる。 <p>B 児：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て、あいさつする。 ・カードを送るスピードを考え、自己紹介をすることができる。 ・相手意識をもち、声の大きさに気をつけて話すことができる。 ・紹介した内容について、質問に答えることができる。 <p>C 児：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の顔を見て、あいさつする。 ・スピードや送り方を工夫し、自己紹介をすることができる。 ・相手意識をもち、声の大きさや話すスピードに気をつけて話すことができる。 ・紹介した内容について、詳しく質問に答えることができる。 <p>D 児：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会に参加し、自分の名前を伝えることができる。

14:05～ 14:15	・本時の学習の振り返りをする。	・自己紹介をした感想を発表する。	○自分のめあてを振り返る。 ○どんな活動をしたのか 確かめる。 ○感想カードをもとに自分の思いを伝えられるように声をかける。 ○指導者も当日の子どもたちの頑張りを評価する。	
-----------------	-----------------	------------------	--	--

10. 板書計画

「先生となかよくなろう会」を開こう		自分のめあて	→	ふりかえり
④先生となかよくなるために、自己紹介をしよう。				感想カード
<u>学習の流れ</u> ① 自分のめあてを確かめる ② 自己紹介をする <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;"> 13:35～13:45 13:45～13:55 13:55～14:05 </div> ③ ふりかえりをする。		<u>自己紹介の仕方</u> 【一人3回する。】 ・あいさつ ・紹介 ・質問に答える		感想カード 感想カード 感想カード 感想カード